

稲作緊急情報(第1号)

平成18年7月21日
J A きたそらち・J A 北いぶき
空知農業改良普及センター北空知支所

1 7月23日の朝に最低気温が13℃を下回る予報が出されました

7月20日に札幌管区气象台より、最低気温が13℃を下回る確率が、幌加内町で70%、深川市で50%、沼田町で40%という低温に関する予報が出されました。
また、23日以降も低温が続く予報も出されています。

2 水稻の生育状況

成苗の「ほしのゆめ」「ななつぼし」「はくちょうもち」については、冷害危険期の終盤(80%程度の茎の葉耳間長が+5cmで終了)を迎えています。中苗や成苗「きらら397」などは冷害危険期の最中という水田が多い状況です。

水田・品種ごとの冷害危険期を把握した上で、以下の対策をとって下さい。

3 低温に対する水管理の対策

(1) 冷害危険期が終わっていない水田

深水で幼穂を保護し不稔の発生を防止する。幼穂長に合わせ、最大水深は18~20cmとする。

(2) 中干しを行っている水田

中干しを中止し、23日未明までに水田に3~5cmの水を入れる。冷害危険期は終わっているが落水していない水田は引き続き、深水を維持する。

注 意

現在、用水路の水温は15~17℃程度です。

急激に水深を深く(5cm以上)したり、日中の入水は不稔発生の原因となります。
早めに入水し、水温上昇に努めてください。